

感染看護論

単位数（時間数）：1 単位（15 時間） 必修/選択：選択 履修年次：4 年次 開講時期：前期

科目責任者（職位・氏名）：非常勤講師・井上都之

科目担当者（職位・氏名）：

対応DP：人間力 ケア・スピリット 人間の実践的理解 専門的知識・技術とその臨床実践
多職種連携・チームワーク アドボカシー

科目記号：99

■ 授業概要

既習の感染症学の知識を前提に、個のレベルでの感染症の発症を防ぐための看護、集団内での流行を防止するための教育・指導、院内感染の特徴ならびに施設内での流行を防ぐための感染管理と、感染症患者の看護について教授する。特に、感染制御に関連する法律やスタンダードプリコーション（CDC ガイドライン）などをもとに基礎的な知識と技術を教授する。

■ 到達目標

1. 感染症とそれに対する生体防護機構に関して基本的に理解する。
2. 感染症に関する環境の影響を理解する。
3. スタンダードプリコーションを中心とした施設内及び市中感染における感染防護の為の基礎的能力を獲得する。
4. 感染症患者看護のための基礎的能力を獲得する。

■ キーワード

感染症、感染制御

■ 授業計画（授業項目、授業内容・授業方法、担当教員）

回	授業項目	授業内容・授業方法	担当
1	感染症と生体防護機構	講義	井上
2	感染症に関する環境の影響	講義	井上
3	感染防護の為の基本技術	講義	井上
4	市中感染の特徴とその制御・対策	講義	井上
5	施設内感染の特徴とその制御・対策 1	講義	井上
6	施設内感染の特徴とその制御・対策 2	講義	井上
7	感染症患者の看護	講義	井上
8	感染管理のための諸活動	講義	井上

■ 履修条件

特になし

■ 成績評価方法

レポート課題

■ 課題（試験やレポート等）に対するフィードバック方法

必要に応じて学務課を通して行う。

■ 準備学修に必要な時間及び具体的な学修内容

- ・授業1コマにつき、事前・事後学修としてそれぞれ90分程度必要とする。
- ・事前学修として、指定された範囲の教科書を読み、内容をノートに要約すること。
- ・事後学修として、授業時配付資料とノートを読み、内容が理解できているかどうかを確認すること。

■ 教科書

- ・操華子他著（2022）『感染看護学』南江堂

■ 参考書・参考資料等

- ・『デジタル ナーシンググラフィカ』メディカ出版
疾病の成り立ち ③ 臨床微生物・医動物
- ・藤本秀士編著、他著（2017）『わかる!身につく!病原体・感染・免疫 改訂3版』南山堂
- ・神谷茂他監訳（2012）『微生物学－基礎から臨床へのアプローチ』メディカル・サイエンス・インターナショナル

■ 担当教員からのメッセージ

感染症の制御、感染症患者の看護を中心に感染看護について学びます。感染予防技術は臨床看護の基本なのでしっかり身につけてください。

■ 研究室、連絡先、オフィスアワー

学務課へお問い合わせください。

■ 担当教員の実務経験の有無

有

■ 担当教員の実務経験

入院患者への看護実務、感染症患者の看護実務、各種医療・福祉施設での感染症のサーベイランス・調査・研究の実施

■ 教員以外で指導に関わる実務経験者の有無

無

■ 教員以外で指導に関わる実務経験者

■ 実務経験を活かした教育内容

病院での看護実務経験、病院、特別養護老人ホームや保育園等での感染症、病原体、感染予防策等についての調査・研究や指導経験など踏まえ実践的な教育を行います。